

業界PR活動を推進し、 若手人材の入職に繋げる

佐賀県電気工事業工業組合理事長 古賀 正信



新年あけましておめでとう
ございます。

皆様方には健やかに新年を
お迎えのこととお慶び申し上
げます。

平素より当組合の事業運営
に対しまして多大なご協力ご
支援をいただき厚く御礼申し

上げます。

さて、「新型コロナウイルス
」の脅威から2年が経過し
ようとしています。日本では
ワクチン接種等の効果もあ

り現在第5波の波が収まり、
全国的にも感染者数の減少が
続いております。ただ全世界
的に見てまだまだ終息の気配
が見えず、新たな変異株の発
生等も確認されるなど、この
状況がいつまで続くのか誰も
予想が出来ません。

そのような中、日本では7
月に1年延期されていた東京
オリンピック・パラリンピッ

クが無観客ではありますが開
催され、テレビの前でコロナ
を吹き飛ばすような熱戦が連
日繰り返され、久しぶりに熱
い気持ちになりました。また
10月には菅内閣総辞職と衆議
院解散での国政選挙で、自民
党単独過半数獲得による与党
勝利で新たに岸田新内閣が発
足し、今後はコロナ収束を踏
まえた社会経済活動への切れ
目ない対策等に期待したいも
のです。

県内では、8月11日から14
日までの記録的な豪雨によ
り、2年前に引き続き武雄市、
大町町の広い範囲で甚大な被
害が発生いたしました。組合
員の中にも2年前と同様に被
災された方も多く、改めて日
頃からの防災意識の必要性を
認識させられた次第です。

このような非常時の災害等
に備えるためにも、当組合で

は佐賀県との間で締結してい
る防災協定、さらに九州電力
送配電とも台風等による非常
災害時の早期設備復旧への応
援業務を締結しており、災害
対策に対応できる体制の整備
と社会の負託に応えられる組
合組織となるよう尽力してい
るところであります。

組合事業では、上部団体で
ある全日電工連主催の全国大
会が佐賀県大津市で開催さ
れ、コロナ禍の中での制限か
ら全国から約500名の組合
関係者が集い、組合活性化研
修会では今後の組合の進むべ
き指針となる素晴らしい事例
発表も行われました。

一方で、組合事業として全
九州技能競技佐賀県大会や電
気工事業安全大会、電気使用
安全月間における街頭キャン
ペーン等主要事業を中止せざる
を得ず非常に残念でありま

した。ただ、安全啓蒙の一環
である電気工事業労働安全標
語については組合員から多数
の応募をいただき、審査の結
果『慣れた作業に ひそむ事
故 初心に戻って 再確認』
が見事金賞に選ばれ、組合と
しての一年を通しての安全ス
ローガンとなりました。また、
完全移行が1月2日からのフ
ルハーネス型墜落制止用器具
の対応として、組合主催で昨
年5回特別教育を実施し15

0名以上が受講されるなど、
組合員の安全に対する意識の
向上がより一層図られている
ものと思われま。

少子高齢化における業界へ
の若手入職者の減少や担い手
不足など、これからの業界の
将来を見据えた対応も大きな
課題です。昨年は県内高校電
気科からの依頼により、青年
部による電気工事業の説明を

させていただき、後日アンケ
ートでは「イメージが変わつ
た」「就職してみたいと思つ
た」等の感想が寄せられ、大
いに業界PRに繋がられたこ
とと思います。今後とも電気
工事業界の実態や魅力を伝え
る活動を実施していき、一人
でも多くの若手人材の入職に
繋げていけるよう業界あげて
進めていきたいと考えており
ます。

最後になりますが今後とも関
係各位のご助言、ご指導をお
願い申し上げますとともに、
皆様様方の益々のご健勝とご
発展を心から祈念いたし、よ
りよい未来へ希望に燃え、飛
躍の年になりますことを願ひ
新年の御挨拶いたします。

人材確保と育成の推進

佐賀県電業協会会長 栗田 博昭



新年あけましておめでとう
ございます。謹んで新春のお
慶びを申し上げます。

昨年を振り返ってみます
と、世界的なイベント東京オ
リンピック・パラリンピック
が開催されました。様々なト
ラブルがあり緊急事態宣言下
の中、異例の無観客で行われ

ましたが、そのような状況で
もアスリートたちのひたむき
な姿は感動と夢があり、記憶
に残るオリンピックになった
のではと思います。

県内では、8月に記録的大
雨があり2019年の佐賀豪
雨で住宅や店舗が広範囲に浸
水した武雄地区などが再び浸
水被害に見舞われました。過
去の経験から自然災害と向き
合つ中で「減災」への取り組
みが重要になっております。

地域との関わりや個人ででき
る事などの意識が高まり、ひ
とひとりの災害への備え、
またボランティア活動などに

も繋がっております。

当業界全国組織で、「働き
方改革に向けた基本方針」が
策定されました。長時間労働
規制への対応、労働人口減少
に対処するための 担い手の
確保と育成、キャリアアップ
システム普及への対応などで
あり、これらを一体となつて
取り組んでいくことになって
おります。

昨年から引き続き、協会の
事業活動は制限されておりま
したが、新型コロナウイルス
感染状況を踏まえ、できる範
囲で行ってきました。当協会
の令和3年度の事業計画は、

①県内自治体や発注機関への
陳情活動②県や関係団体との
意見交換会③人材確保と育成
として、会員の技術向上を目
的とした講習会の開催などを
計画しました。技術講習会
に関しては近年頻発する自然
災害の備えとして防災型の電
源知識を学びました。

また、公共事業の受注・工
事環境について、毎年県や市
町に対して要望を行っており
ますが、この2年ほど直接コ
ミュニケーションがとれてお
りません。一日も早く様々な
意見交換等が行われることを
願っております。

外出行動の抑制度は段階的
に緩和しており、佐賀県の消
費は回復傾向にあり今年は経
済活動が本格的に正常化に向
かうと予測されております。
明るい展望を期待し今後も業
界発展のための活動を変わる
ことなく推進していきたいと
考えております。

今後とも関係各位より、ご
支援とご協力を賜りますよう
心よりお願い申し上げます。
もに、2022年が、明るい
年でありますよう、皆様方の
益々のご発展、ご健勝を祈念
いたしまして新年のご挨拶と
いたします。